

総合実習（3単位）

必修

3年海洋科・機関コース

授業の概要	（内容） 班単位の学習となります。機械実習、電気実習、製図の基礎的実習を行います。		到達目標	実習開始前に先生の説明をじっくりと最後まで聞く態度を養います。十分理解してから実習を行うことが大切です。
	（形態） 実習			環境が整備されていないと作業能率も上がらず、事故が起きてしまいます「安全第一」です。整理整頓、掃除が自発的に出来るようになる態度を養います。安全を重んじる態度を養い、実務に活用できる能力を育てます。
年間の授業計画		項目	内容	
	一学期	4	1分野 機械系	実習形態は3班編成とする。
		5	各種機械の分解、組立て	ポンプ、噴射弁等の分解、組立て
		6	機関の分解、組立て	ディーゼルエンジンの分解、組立て
二学期	7	アーク溶接、板金	アーク溶接の取扱い、板金による作品製作	
	9	2分野 電気系	第二種電気工事士実技試験のレベルです。	
	10	電線接続	電線同士の接続法	
三学期	11	器具との結線	スイッチなどの器具と電線の接続法	
	12	3分野 製図	3角法という図法を学びます。	
	1	製図	投影図と展開図	
学習方法	2	製図	製作図（ボルト等を作図します。）	
	3			
評価方法	ペーパーテスト0	平常点100%		
			<ul style="list-style-type: none"> 製作をした作品について、技能・表現で評価します。 出席状況（遅刻・欠席）を評価します。 作業のできる服装が（作業服、帽子、靴、ベルト）できているか評価します。 製図の課題やインターンシップの出席状況も評価します。 授業への取り組みの態度、道具を大切に扱っているか等総合的に評価します。 	
教材	教科書		アドバイス	「安全第一」事故を起こさないこと。これが第一の目標です。過去の例から休み時間や実習終了後にケガをしています。最後まで気を緩めないようにしましょう。
	<ul style="list-style-type: none"> 『船用機関1』（文部科学省） 『船用機関2』（文部科学省） 『機械設計工作』（文部科学省） 『電気工学』（文部科学省） 			